

2019
4月

スクールホットライン

魚のさばき方教室

from 豊山小学校

1月30日(水)、名古屋市中心卸売市場北部市場水青会の方を講師にお招きして、「魚のさばき方教室」を行い、6年生児童が参加しました。

スーパーでは、魚が切り身で売られていることが多く、魚売り場でお願いと、さばいてくれるサービスもあります。家庭で1匹丸ごとの魚をさばいて、調理することが少なくなりつつあります。初めて自分で魚をさばく児童もたくさんいました。

まずは、魚の話をしていただきました。魚の名前や出世魚についてのクイズが出され、魚について楽しく学ぶことができました。

次に、ぴちぴちとはなる大きな魚を、目の前でさばく様子を見せていただきました。さばく前に魚を気絶させるのですが、そのことを知った児童はとても驚いていました。

そして、いよいよ魚の調理で

す。今回は、鰯の手開きを全員が行いました。慣れない生の魚の扱いに四苦八苦していましたが、水青会の方が優しく分かりやすく教えてくださいました。

はらわたや骨を取り除いたら、小麦粉をまぶして、フライパンでソテーします。かば焼きのたれを絡めると、家庭科室中に香ばしい香りが漂います。おいしい鰯のかば焼きが出来上がりました。

その後、ランチルームに移動し、講師の方と、給食と鰯のかば焼きを食べました。さばきたての新鮮な魚は、臭みが全くなく、とてもおいしくいただくことができました。

地域の方のお力添えのおかげで、とても貴重な経験をすることができました。本当にありがとうございました。



私の航空史

昭和から平成、そして次の時代へ

岡野 允俊

昭和63年3月、無事定年を迎えた。この先自由な生活で、身体が鈍ってほしい、朝6時30分のテレビ体操をすることにした。

昭和64年1月7日、この日もテレビ体操をしていると突然画面が消え「天皇家陛下は吹上御所において崩御あらせられました」というテロップが流れた。

7歳と8か月のご生涯であった。これは同時に62年にわたり在位された昭和の終焉でもあった。昭和の時代は日本の歴史上でも稀有な、激動の時代であった。前半は日中戦争から太平洋戦争に至る硝煙の匂いと戦火に包まれた、一億総決起で非常時の日々。国民の暮らしは国家の命運をかけた暗雲が重くたちこめていた。そしてあの悲惨な敗戦。アメリカの占領下で、すべて

を失って廃墟と化した国土から、一歩ずつ再建に立ち上がった辛い日々であった。経済の高度成長期を迎え、空前の好景気の中で、新幹線、東京オリピックに象徴される昭和元祿ともいふべき太平の世が出現する。やがてそのバブルが崩壊し、日本は大きな試練に直面しながら昭和の時代の幕を閉じる。

天皇崩御の日の午後、直ちに臨時閣議が開かれ、「平成」「修文」「正化」三案から「平成」という新しい元号が選ばれ、ここに時代は「平成」になった。

早いものでそれから30年が過ぎ、5月には平成も終わりを告げ、また新たな時代がはじまる。だが私にとっては昭和の記憶は全く風化する気配はない。またこの年に「史料室(三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所史料室)」も誕生し、私はこの史料室とともに歩んできた。雲からの出発であった。展示品が1つひとつ増え、充実していくのに喜びを感じ、あちこちの博物館、資料館めぐりそのノウハウを吸収し、今日の史料室に生かしてきた。私にとっての平成の歴史は史料室とともに歩んできた歴史ともいえよう。長い間お世話になった三菱生活の最後に満たされた仕事をさせていただき光栄であった。